

「市場経済と社会主義」

この講座では、資本主義に代わる 21 世紀型社会主義をどのように構想するか、市場経済と社会主義についての思想と理論の基本的諸論点に、ごいっしょに検討をすすめてみたい。マルクスは、先行の空想的社会主義者と異なり、社会主義社会の青写真を描いていない。主著『資本論』での資本主義市場経済の原理的解明にもとづき、それにかわる社会主義の実現すべき基本的課題はあきらかになると想定していたにちがいない。実際、『資本論』での資本主義市場経済についての体系的考察は、どこをとってもオルタナティブとしての社会主義の可能性と課題を理論的に示唆している。それらは 20 世紀型社会主義を代表していたソ連型社会に十分くみ取られていたとはいえない。その豊かで多様な理論的可能性をこれからの社会主義に向けて、どのように広く読みとり活かしてゆけるか。興味はつきない。

テキスト：伊藤誠『市場経済と社会主義』（平凡社、1995、『著作集』第 6 巻、社会評論社）。
※手に入らない方には該当箇所のコピーをお渡しします。

時間 19:00 ~ 21:00

6/25(火) 市場経済と社会主義の源泉

7/16(火) 貨幣の廃止か社会化か

7/30(火) 働くことの意味と評価

9/10(火) 企業内分業と社会的分業

9/24(火) 社会主義的企業の諸形態

10/8(火) 社会主義的価格(s 価格)の役割

10/22(火) 剰余労働はなくせるか

11/5(火) 破壊と革新のために

11/26(火) 社会主義の体制改革と新たな可能性

※8 月は夏休み



講師

伊藤誠 (いとう・まこと)

(経済学者、東京大学名誉教授)

著書：『伊藤誠著作集』（全 6 巻、社会評論社、2009～12）、『資本論を読む』（講談社学術文庫、2006）、『経済学からなにを学ぶか』（平凡社新書、2015）、『マルクス経済学の方法と現代世界』（桜井書店、2016）、『資本主義の限界とオルタナティブ』（岩波書店、2018）、『入門資本主義経済』（平凡社新書、2018）。